

看護の実践者として、チーム医療の調整者として、“知”・“技”を極め、すべての看護師が力を発揮してクオリティの高いケアを提供

看護

○看護部

【理念】

- あらゆる健康段階の対象のニーズを適切に捉え、専門的な知識と技術をもって看護問題をアセスメントし、個別性・創造性をもって看護を実践します。
- 医療を取り巻く社会の変化をふまえ、良好な人間関係構築のもとに対象者の意思決定を支え、チーム医療の調整者として多職種と協働し、保健・医療システムにおける看護専門職の役割を果たします。
- 循環器疾患看護における高度専門領域に携わる看護職者として、常に自己教育に努め教育的視点を持って互いに成長し、研究的に看護に取り組み、全国への情報発信に努めます。

看護部の理念は看護専門職の使命を具体化しています

循環器疾患看護は、生命の危機に直結した観察力に始まり、いかにアセスメントし、専門的なケアに繋げるか、質の高い看護のあらゆる「力」が求められます。循環器疾患看護は全ての領域別看護に通じる生命(いのち)を「看る」・「護る」原点とも言えます。国循の看護師・助産師達は、循環器疾患看護を究めようと集まり、日々学習し看護経験を通して成長しています。看護部が掲げる3つの理念には、私たちが専門職業人として、ナショナルセンターの看護師として、どうあるべきかを具体的に謳っています。

“NCVCキャリアラダー”で一人ひとりの目標達成を支援します

国循の看護部では、個々の看護職員が社会のニーズや各個人の能力および生活(ライフサイクル)に応じてキャリアをデザインし、自己の責任でその目標達成に取り組むことを支援する“NCVCキャリアラダー”を構築しています。「ジェネラリストラダー」では、キャリアを高めていくうえでの看護師としての基本的な成長、「スペシャリストラダー」では、循環器疾患看護の専門性を伸ばし実践へ活かせるよう組み立てられています。特に、「ジェネラリストラダー」においては、理念に向かい看護師に求められる5つの「力」を育てるように、レベルごとに行動目標が設定されており、集合および現場での教育で達成を目指します。



薬剤師の病棟業務の充実化で、医薬品の適正使用を推進

薬剤

○薬剤部

薬剤部では、調剤、薬剤管理指導、病棟薬剤業務、医薬品管理、医薬品情報管理、製剤、TDM、チーム医療、研究などを通じて、医薬品の適正使用の推進に努めています。また、薬学実務実習生、薬剤師レジデントなど薬剤師の育成を行っています。

サテライトファーマシーを拠点にチーム医療を後押ししています

サテライトファーマシーが新病院の全病棟に新設され、薬剤師の病棟業務の充実化を図りました。持参薬・投薬歴の確認や患者向け教室の開催、他職種とのさらなる連携を図るため、回診・カンファレンスへの参加、稼働するチーム医療すべてに参加し活動しています。



先端的な検査装置と検査方法を駆使し、低侵襲治療をサポート

放射線

○放射線部

放射線部においてはCT(コンピュータ断層画像)やMRI(磁気共鳴画像)を用いた放射線画像診断と患者さんに投与した放射性薬剤の体内分布を画像化し診断する核医学検査およびカテーテルと血管造影装置を用いて患者さんに負担の少ない治療を提供する低侵襲治療(インターベンショナルラジオロジー)を行っています。

先端的な検査装置を取り揃え、質の高い治療を実現しています

新センターにおいて、3Dカメラ搭載の最新鋭のマルチスライスCTをはじめとするCT3台、3テスラMRI4台、半導体PETを含めた核医学装置5台を導入しました。カテーテル室には新規機種8台、旧センターからの移設機器1台、計9台を導入し、血管造影検査およびカテーテル治療が行われています。



精度の高い検査で、臨床現場に有用な検査データを提供

臨床検査

○臨床検査部

臨床検査部は循環器疾患の診断に不可欠な心電図や、心臓をはじめ頸動脈、末梢血流、腹部、胎児などの超音波検査、運動負荷などの生理機能検査、血液・尿・細菌などの検体検査、遺伝子検査、輸血管理などを行っています。常に「患者さん第一」をモットーに精度の高い検査を心掛け、国際規格ISO15189の認定も受けています。

心磁図を、不整脈の診断などに活用しています

「心磁図」は心臓から発生する微弱な磁場を、超伝導コイルを応用した高精度なセンサーで測定する検査方法です。一般的な心電図では困難な不整脈の程度や発生場所が特定でき、胎児の不整脈を出生前に診断することも可能です。



高度医療機器の操作と管理によって医療従事者をバックアップ

臨床工学

○臨床工学部

臨床工学部は高度医療機器の操作と管理を行っています。特に人工心臓、人工心臓、ペースメーカー、補助循環の操作件数は国内有数です。また院内における高度医療機器の安全使用を目的に全医療従事者を対象とした講習会を実施しています。研究では人工臓器部と協力し安定した補助循環の提供を目指し、装置や管理方法の向上を目的に研究を行っています。

専門の臨床工学技士が、人工心臓患者さんをサポートしています

臨床工学部は高度医療機器の操作と管理を行っています。特に人工心臓業務では、人工心臓を装着した患者さんが入院から移植までの待機期間を安心して過ごすように、機器操作、患者さん・ご家族のトレーニング、退院後の人工心臓機器外来を専門認定資格を取得した臨床工学技士が実施しています。

